

L6 赤外線フルトラキット 取り扱い説明書

【 取付け注意 】

- ・ ディスビィーとフルトラ間の3ピンコネクタ部配線と1次側プラグコードを接近させないで下さい。アンプが故障する恐れがあります。
- ・ 3ピンコネクタ部は、エンジン振動、等により接触不良がおきやすい為、配線が揺れないように固定してください。
- ・ 赤外線センサー及びアンプは許容温度以上に達すると故障の恐れがあります。ディスビィーに遮熱シートを巻いたりアンプを通風性のよい所に置くなど熱対策を充分に行ってください。
- ・ 右記の車種別の配線図は純正の電源線を使用して最も簡単に配線するための図です。フルトラの電源線は12V以上確実に供給する必要がありますので、フルトラの赤線はリレーを設けて別系統から電源供給するとよりベストです。

【 基本配線 】

- ・フルトラアンプ側 赤線 12V電源線
- ・フルトラアンプ側 緑線 フルトラ信号出力線(コイルへ)
- ・フルトラアンプ側 黒線 ボディーアース (ボディーにヤスリをかけて確実に)
- ・フルトラアンプ側 3ピンコネクタ ディスビィー側のコネクタと結線

※後付けでMDIを装着する場合はMDI配線図の方を参照してください。

【 点火時期調整 】

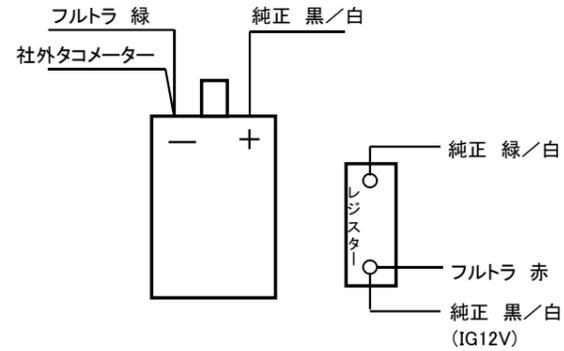
- ・NA車 上死点前35~38度/4000回転時 (フル進角させて計測)
- ・NA車 上死点前20~23度/アイドリング時 (目安)

※上記の点火時期は参考値です。エンジン仕様やディスビィーの状態によって異なります。4000回転時とアイドリング時の点火時期が上記の値と異なる場合は、4000回転時を優先してください。

・燃料調整(キャブ調整)が不十分ですと、ノッキングが出ることがあります。油面、燃圧、各ジェット等のセッティングを見直ししてください。ノッキングが収まらない場合は点火時期を遅らせてください。

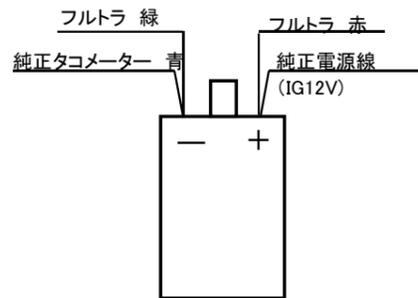
【 取付け配線図 】

S30 前期型(ポイントから変更する場合)

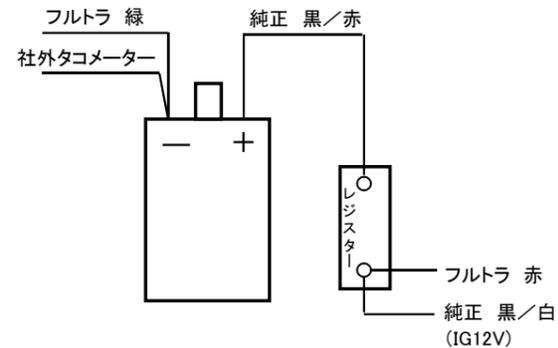


※純正で電流式タコメーターを使用しているためタコメーターに誤作動が起きる場合があります。(社外タコメーターは問題なし) その際はフルトラの赤線を別のところ(IG12V)から取り直して下さい。

S130前期(純正フルトラから変更する場合)

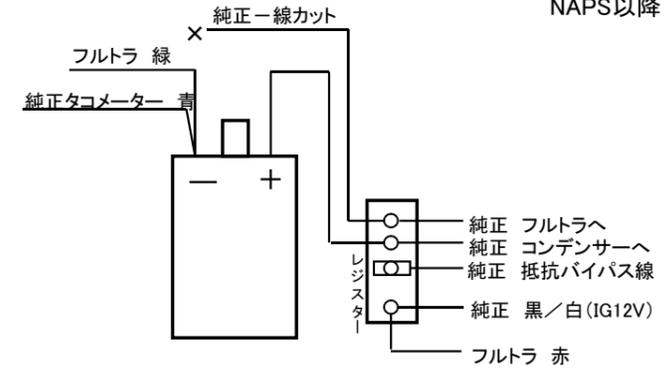


GC10(ポイントから変更する場合)



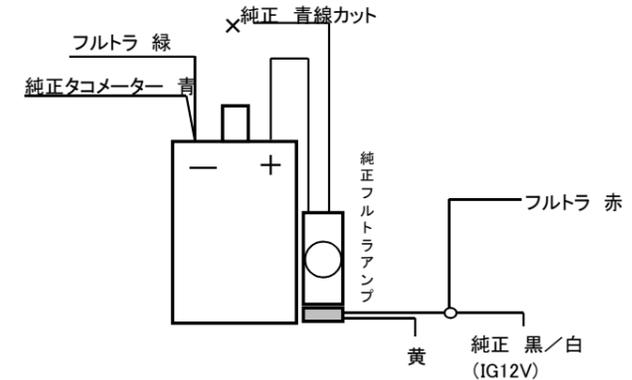
※純正で電流式タコメーターを使用しているためタコメーターに誤作動が起きる場合があります。(社外タコメーターは問題なし) その際はフルトラの赤線を別のところ(IG12V)から取り直して下さい。

S30後期、S31(純正フルトラから変更する場合) NAPS以降



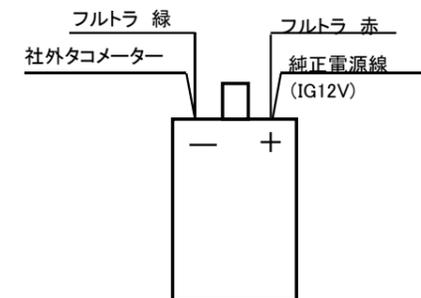
※NAPS以降は純正で電圧式タコメーターを使用しているため追加でMDIを装着しても回転計アダプターは不用です。純正タコメーター線の無いタイプがあります。その場合は運転席のアクセルペダル右側に純正フルトラアンプのボックスがありボックス上方向に5本の配線が出ています。手前から2本目の黒/白線をカットしてください。(コイル側の一線カットは不要です。)

S130後期(純正フルトラから変更する場合)



※純正のフューエルポンプを純正配線で使用している場合、フューエルポンプが作動しない場合があります。その際は、フューエルポンプの+側へ電源の引き直しが必要です。

S30、GC10(レジスタがない場合)



※純正で電流式タコメーターを使用しているためタコメーターに誤作動が起きる場合があります。(社外タコメーターは問題なし) その際はフルトラの赤線を別のところ(IG12V)から取り直して下さい。